

## 教授会議事録

日時：平成29年9月12日（火）14時00分から16時10分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、人事異動者から挨拶があった後、議長から、人事異動について報告があった。

前回議事録の確認

平成29年7月11日（火）開催の定例教授会議事録について承認した。

### I. 報告事項

#### 1. 学内外諸会議等報告

##### (1) 部局長連絡会議・教育研究評議会

議長から、7月18日（火）開催の部局長連絡会議について、配付資料により下記事項について報告があった。

- ①第3期中期目標期間における指定国立大学法人の指定
- ②平成29年度中央枠予算
- ③平成30年度概算要求
- ④会計監査人の選任
- ⑤リサーチプロフェッサーの称号付与
- ⑥平成29年9月学位記授与式
- ⑦平成29年度オープンキャンパス
- ⑧平成30年度日本学術振興会特別研究員の申請状況等
- ⑨平成30年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦
- ⑩東北大学110周年ホームカミングデー
- ⑪「東北大学基金感謝のつどい」の開催
- ⑫広報の取組紹介
- ⑬平成29年度利益相反定期自己申告の実施
- ⑭平成29年度超過勤務時間数
- ⑮第48回仙台七夕花火祭
- ⑯10/3,4 東北大学-カロリンスカシンポジウム
- ⑰6/23 「社会にインパクトある研究」シンポジウム報告

##### (2) 学際科学フロンティア研究所運営委員会

次の事項について報告があった。

- ①自動車での入構に特別許可証が必要になったこと。
- ②次期研究所長候補者について、推薦委員会で6名が選出されたこと。

(3) 学術情報整備検討委員会

Nature Photonics (ネイチャーフォトニクス) の共同購入希望について、学術情報資料選定委員会理工系WGにおいて、全学のダウンロード実績数を提示し、理工系での共同購入は認められたこと、また、これにより部局負担は軽減されることとなったことについて報告があった。

なお、全学の学術情報整備検討委員会での同提案は認められなかったことについて、併せて報告があった。

(4) 学生生活支援審議会

配付資料により下記事項について報告があった。

- ①学生が急性アルコール中毒で病院搬送されるケースが増加しているので注意喚起されたいこと。
- ②教員等による医療同意について、教員に権能はないが緊急時にサインが求められることがあり、大学が責任を負うのでサインはしてほしいとのことであったが、大学は金銭的な責任までは負えないことから、学生（特に留学生）には、必ず保険に加入してほしいとのこと。併せて関連する保険制度について説明があった。

(5) 研究大学強化促進事業実施委員会

配付資料により下記事項について報告があった。

- ①URA 連携協議会における平成30年度以降の学術政策およびターゲット領域について
- ②各種大学ランキングについて

2. 運営会議等報告

(1) 将来計画委員会

センター・施設関係の今後のあり方の議論に関連し、IT-21センターのリニューアルに伴い、同センターの設備共用化等を含めた支援のあり方について検討中であるとの報告があった。

(2) 研究企画委員会

東北経済産業局と若手研究者との連携について、9月末に開催することの報告があった。

(3) 人事委員会

高等研究機構新領域創成部への参画について、人員を配置することから本研究所として主体的に関わって進めていくとの報告があった。

(4) ナノ・スピンの実験施設運営委員会

半導体基礎講座の開催について、配付資料により報告があった。

(5) IT-21センター運営委員会

同センター新研究部におけるプロジェクトの公募のうち、B. 萌芽研究部における研究プロジェクトに提案のあったプロジェクトのうち2件を採択したこと、およびその概要について、配付資料により説明があった。

## (6) 学部教務委員会

下記事項について、配付資料により報告があった。

- ①出張講義・大学見学等について
- ②学籍異動者について
- ③最終講義について
- ④コース分け実施報告について

なお、本研究所の最終講義の際の司会・謝辞等について、退職者の所属する部門長等が退職者の意向を伺いながら決定することとなっている旨、確認した。

## (7) 電気・情報系進路指導委員会

下記のとおり報告があった。

※電気・情報系全体		※通研
推薦人数	168名	57名
うち、推薦による内定者	142名	47名
推薦の内定率	84.5%	84%
自由応募に切り変えた内定者	17名	3名
進学に変更	1名	1名
選考結果待ち	1名	1名
未定	7名	4名

なお、昨年とほぼ同様に推移していること、また、未定の学生をケアし委員会として努力していくことの付言があった。

## (8) 国際化推進室会議

下記事項について、配付資料により報告があった。

- ①国際学術交流協定の締結・更新の状況について
- ②平成29年度国際化推進室関連予算及び事業計画案について

(このうち、全ての報道発表について英語版を発出するよう、新たに翻訳支援用のアプリケーションを導入することの報告があった。)

## (9) 系内大学院教務委員会

前回研究教授会及び通研教授会における、予備審査の実施時期、審査時間、中間報告会の取扱いについての各種意見を踏まえた検討内容、及び修士論文審査会の日程・審査時間の改訂(案)について配付資料により説明があり、この実施については来年度からであるとの付言があった。

## (10) 広報室

資料展示室のリニューアルについて、通研公開までに間に合うよう、進めているところであるとの報告があった。

## 3. 指定国立大学世界トップレベル研究拠点スピントロニクス支援体制について

議長から、指定国立大学世界トップレベル研究拠点スピントロニクス支援体制につ

いて、この事務を所掌する支援室について、本研究所事務部内に設置する旨配付資料により報告があった。

4. 平成29年度部局評価ヒアリングについて

議長から、平成29年度部局評価ヒアリングの内容について、配付資料により報告があった。

5. 女性教員採用促進事業の公募結果について

女性教員採用促進事業の公募結果について、配付資料により次のとおり報告があった。

①部局公募型：不採択

②国際公募型：採択

③各部局の特性を生かした努力に対する促進策：不採択

なお、関係の研究者で国際公募に相応しい方があればご検討願いたいとの付言があった。

6. 電気通信研究機構について

次の事項について報告があった。

①次期機構長候補者選考について、選考委員会から、現機構長を選出したとの報告があり、承認されたこと。

②諮問委員会資料について、承認されたこと。

7. スピントロニクス学術連携研究教育センターについて

下記事項について報告があった。

①4名の専任教員から提案のあった研究課題に、予算を配分したこと。

②共同研究プロジェクトの追加提案1件について採択し、予算を配分したこと。

③指定国立大学世界トップレベル研究拠点のスピントロニクス拠点と材料科学拠点の合同キックオフシンポジウムを下記のとおり開催すること。

日時：平成30年2月19日（月）、20日（火）

場所：仙台国際センター

④連携ネットワーク拠点4大学（東北大・東大・慶応大・阪大）の運営委員会を開催し、各大学の事業報告があり、KPIへの対応及び年次報告のあり方について意見交換を行ったこと。

8. その他

(1) 平成29年度教員個人評価について

平成29年度教員個人評価について、今後評価を行いその結果を昨年同様の方法でフィードバックすることの報告があった。なお、「教員個人評価自己申告シート」の作成について気づいた点があれば連絡いただきたいとの付言があった。

- (2) 民間等との共同研究の受入について  
議長から、民間等との共同研究の受入について、配付資料により報告があった。
- (3) 受託研究の受入について  
議長から、受託研究の受入について、配付資料により報告があった。
- (4) 受託研究員の受入について  
議長から、受託研究員の受入について、配付資料により報告があった。
- (5) 職員及び学生の受賞について  
議長から、職員及び学生の受賞について、配付資料により報告があった。
- (6) プレスリリース等について  
プレスリリース等について、配付資料により報告があった。
- (7) 科研費の申請について  
科研費の申請にかかる研究企画委員会の取組みについて、配付資料により次の事項の報告があった。
- ①科研費を対象とした科研費説明会：7月11日（火）開催済
  - ②科研費申請調査（申請予定の照会）：9月5日（火）締切
  - ③研究計画調書閲覧制度：8月17日（木）～10月16日（月）
  - ④科研費調書助言制度：タイプA 9月14日（木）締切  
タイプB 申し込み 9月20日（水）締切  
タイプB 調書案提出 9月29日（金）締切
- なお、本部の取組みについて併せて配付資料により説明があった。
- (8) 第2回学生生活支援審議会FDについて  
第2回学生生活支援審議会FDについて、「修学上の合理的配慮の提供について」をテーマとして開催され、その内容について配付資料により報告があった。
- (9) 教授会前における資料提出について  
教授会における資料のセットアップに長時間、遅い時間までの作業を要していることからこれを軽減させるべく、この一因となっている資料提出遅延について、提出の期限を定例教授会開催日の前の週金曜日の正午までとするので、協力願いたいとの発言があった。
- なお、本年10月分については、教授会前日が祝日であることから、資料提出期限を5日（木）正午までとするので、併せて協力依頼があった。
- (10) 学生の国際会議発表件数について  
学生のさまざまなデータを集計し学生への教育支援の充実に資するため、学生の国内外の国際会議への出席、発表の有無について照会しているので、これについては是非協力願いたいとの発言があった。

## II. 協議事項

### 1. 教員の転出について

議長から、人間情報システム研究部門実世界コンピューティング研究室 助教 を下記

のとおり転任させることについて提案があり、審議の結果、これを承認した。

発令日：平成29年10月1日

転出先：工学研究科ロボティクス専攻

## 2. 卓越研究員の選考について

卓越研究員の公募に対し7名の応募があり、人事委員会で2名に絞り、学生配属及び主査を含め独立准教授研究室として運営するポストであることから教授選考と同等の委員会を設置しこの選考にあたることになっているため、この選考委員会を設置することについて提案があり、審議の結果、これを承認した。

## 3. 平成29年度外国人研究員（客員部門）について

平成29年度外国人研究員招へい候補者の追加募集について配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、応募受付は第一次募集を9月29日（金）まで、第二次募集を10月31日（火）までとした。

## III. その他

### 1. その他

#### (1) 東京フォーラム2017について

東京フォーラム2017について、配付資料により概要説明があった。

#### (2) RIEC Award について

RIEC Award 各賞の受賞候補者の応募状況について説明があり、書面審査が終了し、今月末の審査委員会を経て受賞者を決定、東京フォーラム2017において授賞式を行うことの報告があった。

なお、来年度以降に向けて、さらに積極的に推薦していただくよう協力方アナウンスがあった。

#### (3) 通研公開について

10月7日（土）、8日（日）開催の通研公開にあたり、次のとおり協力願いたいとの依頼があった。

①研究室配属にも重要な場であることから3年生へ向けた通研公開のアナウンスのため、授業等を通じチラシを配布いただきたいこと。

②ラジオ工作教室について、当日のサポーターを各研究室から選出していただきたいこと。

#### (4) 片平まつり2017について

通研公開と同時に行われる片平まつり2017について、次のとおりお知らせがあった。

①キャンパス間シャトルバスの片平地区のバス停（テント）が本研究所に設置されることから、人通りが多くなること。

- ②片平まつりの終了時刻が16:00、通研公開の終了時刻が17:00であることから、片平まつりの最終バスが16:00以降に本研究所に到着となり、その際には通研公開に来客を誘導できること。
- ③10月7日(土)に片平さくらホールにおいて「国立大学附置研究所・センター会議公開シンポジウム 災害科学とメディア—大災害時代を生き抜くために—」が開催され、全国の研究所長等が来学すること。
- ④片平まつりのパンフレット及び掲載の本研究所のキャラクターについての説明。  
①～③に当たっては、当日本研究所をPRするよう適宜対応をお願いしたいとの付言があった。
- (5) オープンキャンパスについて  
7月25日(水)、26日(木)に開催されたオープンキャンパスの実施状況について、電気系への来場者は1日目が3,651名、二日目が3,025名、二日間で6,676人であったこと、及び関係各位に謝辞があった。
- (6) 研究交流会について  
9月1日(金)に開催された研究交流会の参加人数、アンケート等について配付資料により報告があり、併せて、関係各位に謝辞があった。
- (7) 教授会懇親会について  
教授会懇親会について10月10日(火)の午後7時から開催予定であるとのアナウンスがあった。
- (8) 情報処理学会シンポジウム エンタテインメントコンピューティングについて  
情報処理学会シンポジウム エンタテインメントコンピューティングについて、次のとおり開催する旨、配付資料によりアナウンスがあった。  
日時：平成29年9月16日(土)～18日(月)  
場所：本研究所本館  
なお、この開催にあたり、外部の来場者がいること、ドローンのデモなどを行うことから、多少の騒音発生等については了承願いたいとの付言があった。
- (9) 次回開催日について  
平成29年10月10日(火)14時から開催することとした。

以 上